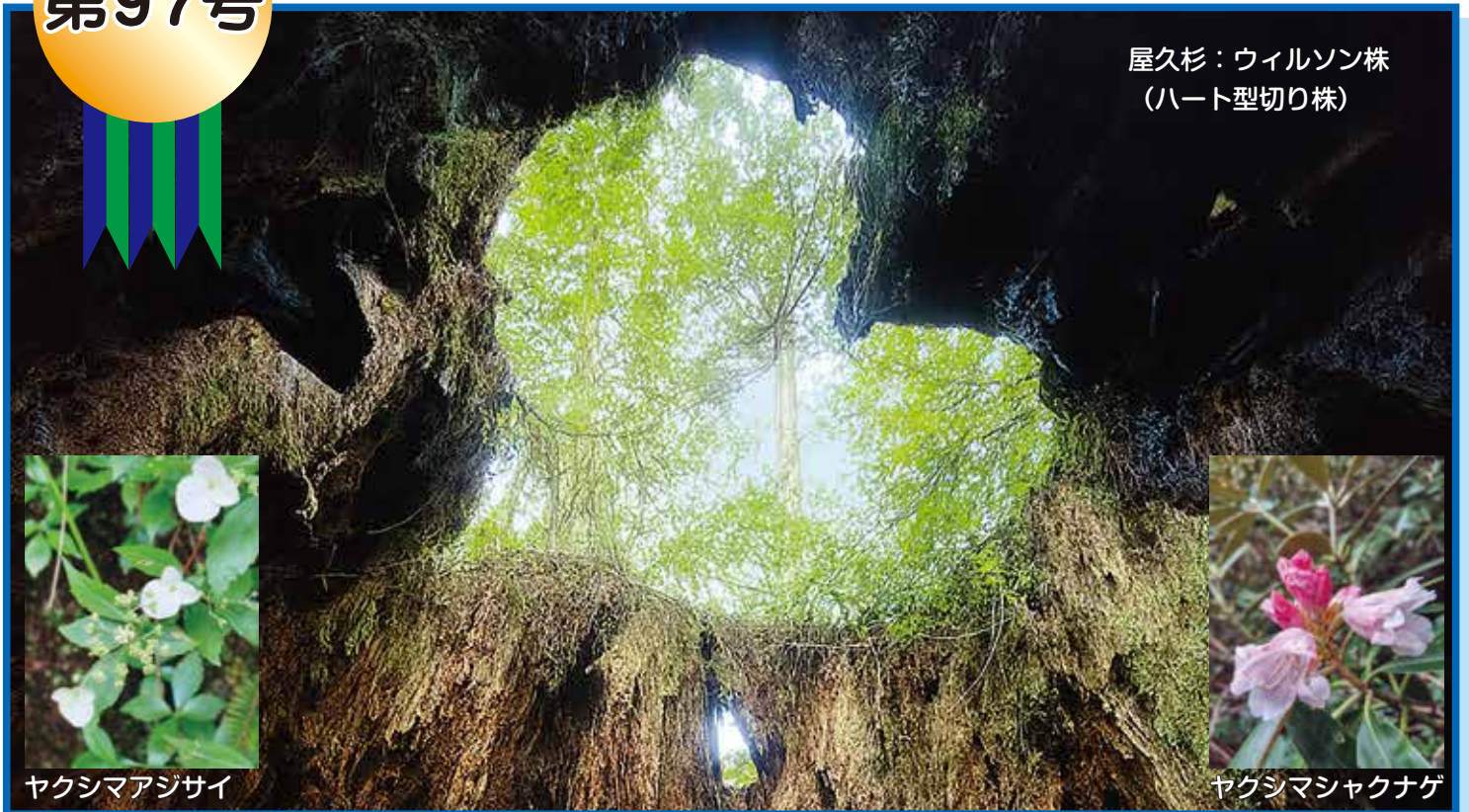




国立病院機構 相模原病院 広報誌
令和8年6月26日号
発行：国立病院機構 相模原病院
発行責任者：安達 献
住所：相模原市南区桜台18-1
電話：042-742-8311 (代表)
F A X：042-742-5314

第97号



屋久杉：ウィルソン株
(ハート型切り株)

ヤクシマアジサイ

ヤクシマシャクナゲ

2026年5月屋久島にて (職員撮影)

第97号 目次

- ◆診療部長紹介 1
- ◆産婦人科紹介 2
- ◆連載コラムQ&A
 - 薬剤部 4
 - 臨床検査科 5
 - 放射線科 6
- ◆ナースのチカラVOL.5 8
- ◆コーヒーブレイク
 - 夏バテから復活する栄養
～「食べる」で自分を慈しみ、秋へ繋ぐ物語～ 10
 - 連載** 近隣保険薬局紹介コーナー
「柴胡会 ちゅうおう薬局」様 13
 - 連載** 近隣協力医療施設の紹介コーナー
「相模大野内科・呼吸器内科クリニック」様 14



国立病院機構の理念
私たち国立病院機構は国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧な医療を提供し質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。

診療部長紹介

このたび当院に新たに2名の診療部長が着任いたしました。
それぞれの専門分野から、地域医療のさらなる充実に取り組んでまいります。



新たな風を吹き込む



未来への希望



地域連携の充実

循環器内科部長：前島 信彦

前勤務先：藤沢市民病院

出身地：埼玉県

休日の過ごし方：公園での散策、ハイキング、ビアフェス巡り

座右の銘：至誠一貫

好きな映画：バックマン家の人々、バック・トゥ・ザ・フューチャー (1)



【ご挨拶】

4月より循環器内科部長として着任いたしました前島信彦です。命の最前線である循環器診療において、患者さんや地域の先生方との信頼関係を大切にし、お一人おひとりにふさわしい治療を提供してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科部長：石戸 謙次

前勤務先：北里大学病院

出身地：神奈川県茅ヶ崎市

休日の過ごし方：プロレス関連のネット情報を見ること

座右の銘：成るようになる

好きな映画：特になし



【ご挨拶】

医師3年目に病棟医として1年間、当院にて安達院長や菅野先生、中村先生のもとで大変お世話になりました。このたび十数年ぶりに再び勤務させていただくこととなりました。まだ不慣れな点もありますが、一つひとつ丁寧に取り組み、患者さんに寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

産婦人科紹介

産婦人科部長 新井 努

産婦人科は大きく分けると産科と婦人科の2つの領域から成り立っています。産科は妊娠の判定、妊婦検診、出産、産後のケアなど母体と胎児の健康をサポートします。婦人科は月経に関連する症状や子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍など良性疾患、子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌などの悪性疾患やホルモンに関連する疾患や更年期障害・不妊症など女性特有の疾患全般を診療します。

相模原病院の産婦人科診療でも産科と婦人科の診療を行っております。

産科と連携して行っております。相模原病院産科では妊娠経過の問題ない方を中心に妊娠分娩を取り扱っております。また計画的対応のみですが無痛分娩も昨年より開始し現在では10-20%の方が計画無痛分娩で出産されております。産後ケア対応も当初相模原市内在住の自院での出産された方を対象にしておりましたが現在は他院での分娩例もふくめ相模原市以外のかたも対応しております。



■産科：妊娠の診断、妊婦検診、妊娠にまつわる諸検査、分娩、産後ケアなどを行います。妊娠経過中は大半の場合、児の順調な経過を観察していくこととなりますが切迫早産や高血圧や糖尿病など合併症を併発することがあり、他の診療科との連携が必要な場合があります。また病状によっては早急な分娩が必要な場合や生まれた児の集中的なケアが必要な場合もあり地域の病院との連携が必要になる場合があります。相模原地区は神奈川県県央地区に分類され北里大学病院・相模原協同病院・相模野病院・大和市立病院の周産期母子センターを中心に様々な対



無痛分娩



地域連携

■婦人科：相模原病院婦人科では子宮筋腫・卵巣腫瘍などの良性疾患の手術、卵巣癌、子宮頸癌・子宮体癌などの悪性疾患の手術や抗がん剤治療を行っております。手術では近年低侵襲手術が大半を占めていて腹腔鏡手術・ロボット支援下腹腔鏡手術で子宮全摘を行っております。とくに子宮筋腫や子宮腺筋症といった良性疾患では病状に応じて腹腔鏡下子宮全摘、ロボット支援下子宮全摘、vNOTES(経腔的腹腔鏡)子宮全摘手術と様々な方法で手術をしています。また悪性腫瘍に対する抗がん剤治療もおこなっており分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤を併用した化学療法を行っております。また近隣の病院や救急車からの要請にも可能な限り迅速に対応し婦人科救急疾患(子宮外妊娠や卵巣捻転など)幅広く対応しています。不妊症などの生殖医療は行っておりませんが、月経困難症や更年期障害については、外来を中心に行ってお



抗がん剤治療

ります。

地域の皆様に寄り添い、安心して受診いただける診療科であるよう努めてまいります。気になる症状や不安なことがございましたら、どうぞ気軽にご相談ください。

低侵襲手術



腹腔鏡・ロボット手術



連載コラムQ&A <気になる疑問にお答えします>

■薬剤部

副薬剤部長 辰己 晋平

Q：おくすりを飲み忘れたらどのようにすればいいの？

おくすりが持つ効果を安全に、そして最大限に引き出すためには、正しいのみ方で飲むことが重要になります。しかし、くすりを飲み忘れてしまったという経験は誰にでもあると思います。では、おくすりを飲み忘れてしまったらどのようにすればよいのでしょうか。

A：あわてて飲んだり、2回分を一度に飲んだりするのはたいへん危険です。大部分のおくすりは次の服用時間まで時間が空いていれば気づいた時点で飲んでよいのですが、食事の時間にあわせて飲んだほうがよいおくすりなどは対応が異なり、自分で判断するのは危険なおくすりもあります。今回は飲み忘れたくすりを飲むタイミングについてお話します。

■1日3回毎食後に飲むお薬の場合は、朝に飲むお薬を昼に思い出したとしたら、朝の分を昼に飲み、昼の分はお休みして夕からまた正しく服用します。または、昼の分は夕に、夕の分は寝る前に飲んで翌日からまた正しく服用します。目安として、4時間以上の間隔を空けましょう。

■1日2回であれば、思い出した時に服用し、その日になるべく時間を空けて2回目を服用します。目安として、6時間以上の間隔を空けましょう。

■1日1回であれば、思い出した時に服用し、翌日からまた正しく服用します。目安として、8時間以上の間隔を空けましょう。

しかし、おくすりが食事の影響を受けるおくすり、例えば食前や食間に飲むおくすりは胃の内容物によってくすりの吸収や効果が変わる場合が多く、胃に内容物がある状態で飲むと効かなかったり、効き過ぎることがあります。食後に飲むおくすりでも血糖を下げるおくすりは次の食事まで時間が空きすぎると血糖が下がり過ぎて危ないこともあります。

このように、おくすりのよって飲み忘れたときの対応が異なることがあるので、いつも使っているおくすりについてあらかじめ、医師、歯科医師、薬剤師に飲み忘れたときの対応を確認しておくようにしましょう。そして、わからなくなったときには医師、歯科医師、薬剤師に相談してください。



連載コラムQ&A <気になる疑問にお答えします>

■臨床検査科

臨床検査科 中央採血室主任 朝比奈 大輔

Q：なぜ採血は何本も採るの？（第二弾！）

A：採血管の種類によって検査できる項目が異なるためです。前回のコラムで紹介しきれなかった検査についてご紹介します。

- ①赤血球沈降速度（橙色の採血管）：この採血管には、クエン酸ナトリウムという液体の抗凝固剤が入っています。この検査は炎症の指標となる検査であり、特に関節リウマチなどの膠原病では病気の経過をみるために大切な検査です。
- ②アレルギー検査（水色の採血管）：この採血管には、遠心分離機の遠心力を利用して血清（上澄み）と血餅（沈殿）に分けるための分離剤が入っています。この検査では食物、花粉、ダニ等、動物など多岐にわたるアレルギーの有無を確認します。当院では、100種類以上のアレルギーを調べることができます。
- ③不規則抗体検査・交差適合試験（紫色の採血管）：この採血管には、EDTA-2Naという顆粒の抗凝固剤が入っています。輸血に関する以下の検査に用いられます。
 - ・不規則抗体検査：血液型にはよく知られているABO式、Rh式以外にもたくさんの種類があります。この検査で、輸血の際に副作用を起こす可能性のある抗体を持っていないか確認することができます。
 - ・交差適合試験：実際に輸血する血液と患者さんの血液が安全に合うかどうかを事前に確認する検査です。輸血を安全に行うために欠かせません。
- ④外部委託検査（桃色の採血管）：この採血管には、遠心分離機の遠心力を利用して血清（上澄み）と血餅（沈殿）に分けるための分離剤が入っています。院内では検査できない専門的な検査は、外部の検査センターに委託しています。多くは桃色の採血管で採血を行いますが、検査の内容によって使用する採血管は異なります。

他にも血液を用いた検査は多数あります。中央採血室の受付では「検査項目と基準範囲の一覧表」をご用意しております。ご興味のある方は、ぜひご覧ください。



連載コラムQ&A <気になる疑問にお答えします>

■放射線科

放射線科 副診療放射線技師長 塩森 智文

Q：造影剤？ どうして必要なの？

A：放射線検査では造影剤を使用することがあります。なぜ必要なのか、造影剤を使用するメリットは何なのかをお話します。造影剤は様々な画像検査において、身体の中を詳しく描出し、病気の部分をしっかり把握する事を目的とした薬剤です。造影剤の使用で病気の有無、病気の性質、病気の範囲、その重症度を正確に診断する事ができます。造影剤を使わなければ病気を発見できない事もあります。

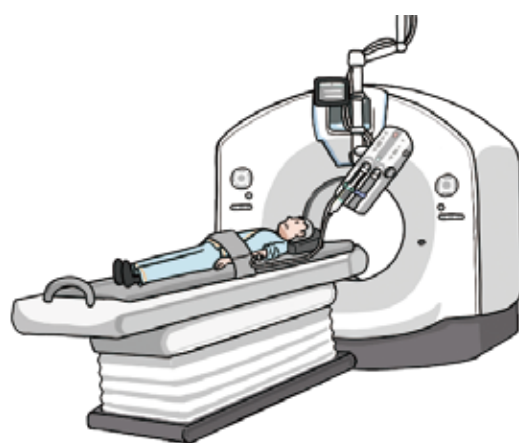
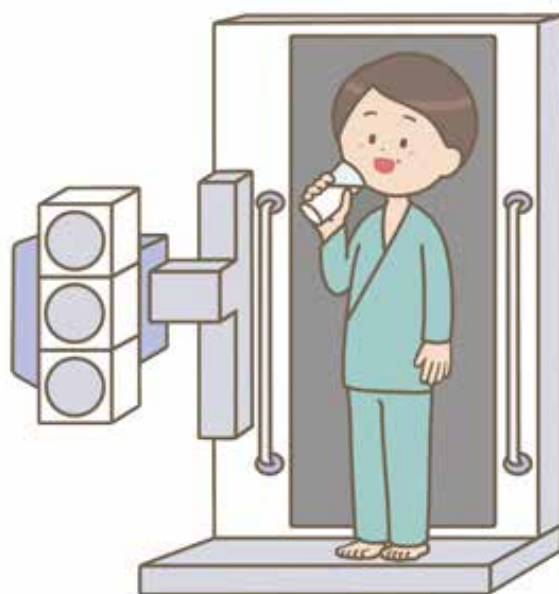
一口に造影剤と言いましても検査によって色々な種類の造影剤が使用されています。

胃の透視検査など消化管で用いられるバリウム系造影剤、CT検査で使用されるヨード系造影剤、MRI検査で使用されるガドリニウム系造影剤など多岐にわたります。

使用する目的は、前述した様に体内構造の異変を検出しやすくするために使用しますが、CTやMRIの造影剤に関しては、注射で血管内に注入していきます。

人体では全身すみずみまで血管がめぐっており、血液が体全体を循環しています。造影剤が血管を介し身体の隅々まで届くことによって、身体全体で画像上のコントラスト（濃淡）が向上し、複雑な体内構造がより明確に分かり易くなります。一部の病変ではたくさんの血液を取り込もうとして非常に毛細血管が発達しています。毛細血管に造影剤が入るまでの識別作用時間を待って、決まった時間にCTやMRIを撮影することで、病変の検出やその鑑別に大変役立ちます。同時に、大小の血管の状態や形態の把握をすることにも役に立ちます。しかし、造影剤の使用には注意点もあります。CTやMRIの造影剤は腎機能が低下している方には使用できない場合があります。造影剤の使用には直近の腎機能のデータが必要となりますので、腎機能の状態が分からない場合は、採血結果を待ってから検査になることがあります。

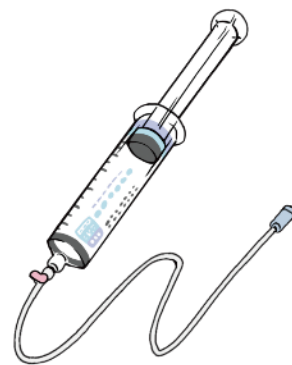
バリウム造影剤は、消化管（食道・胃や小腸）の検査においては経口で使用します。（大腸の検査では肛門から注入します）。消化管の表面は粘膜で覆われており、がんなどの病変がありますと病変が粘膜に入りこんでいきます。消化管粘膜にバリウム造影剤を付着させていろいろな体勢で撮影することにより、病変を描出し易くなります。また、ポリープなどの隆起している病変にも有効です。



造影剤は薬の一種であるため、副作用も存在します。

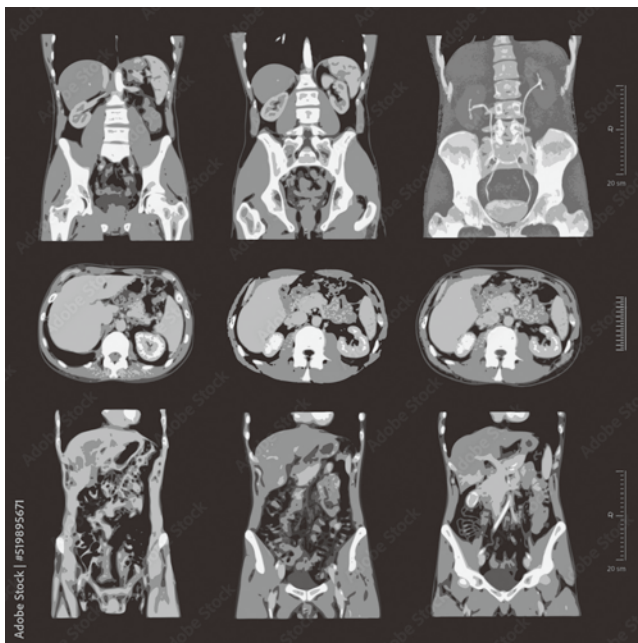
バリウム造影剤は消化・吸収されることがありませんので下剤を使用してバリウムを体内から排出させる必要があります。体内に残ったままになってしまうと便秘や腸閉塞を起こすことがあります。また、くしゃみやじんましんなどのアレルギー反応が出ることもあります。

注射で使用するCT・MRIの造影剤は、主に吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、くしゃみ、発疹などがあります。軽い副作用は100人に2～3人程度、重い副作用は10万人に1人の割合で発生するといわれています。また遅発性副作用といって検査後1時間から数日で発生する場合があります。造影剤は注射後6時間程度で90%は腎臓を介して尿として排泄され、時間と共に全てが体外に排泄されます。



当院では患者様が安心して検査を受けていただけます様、造影検査中は患者様に副作用もしくは副作用の前駆症状が出ないかを観察しながら検査を行います。副作用が起こった際には速やかに治療にあたる事が可能な体制を整えています。

造影剤は必要な検査に必要な量を使用しています。検査前に不安なことがありましたら遠慮せずスタッフにお尋ねください。安心して検査を受けていただけます様に放射線科スタッフ一同、日々怠る事ない様に努めています。



ナースのチカラ
VOL.5 | 2026年夏号

**0歳から100歳まで、すべての女性に寄り添う
相模原病院の産婦人科**

■2階北病棟 副看護師長

助産師 谷田部 有里菜
同 助産師 藤野 奏

相模原病院2階北病棟は、産婦人科を中心とした「成人女性病棟」です。ここでは、産まれたばかりの赤ちゃんから、100歳を超える人生の大先輩まで、幅広い世代の女性たちが過ごす、院内で唯一の女性病棟です。

1. スタッフは全員女性！明るく心強いチームです

医師を除き、病棟スタッフはすべて女性です。ベテランから若手まで、いつも明るく和気あいあいとした雰囲気、患者さんを家族のような温かさでお迎えしています。

特に、子育て中のママさんスタッフも多く在籍しているため、お産や育児の悩みについても、同じ目線で親身にサポートできるのが私たちの自慢です。

2. 専門家が支える安心感

- ①**助産師**：経験豊富なベテランに加え、日本助産評価機構に認定された「アドバンス助産師」が活躍中。確かな技術で、新しい命の誕生を全力でバックアップします。

- ②**看護師**：婦人科手術や化学療法を受ける患者さんの看護から、産まれたばかりの新生児のケアまで、助産師と協力して幅広く担当します。どんな時も、女性の健康をトータルで支えます。

- ③**小児科との連携**：分娩後は小児科医ともしっかり連携しています。何かあった時もすぐに専門医が対応できる体制なので、産後も安心してお過ごしいただけます。

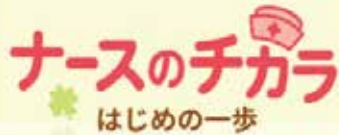
3. 外来から産後まで、トータルサポート

外来では妊婦健診だけでなく、母親学級や両親学級を通じて、パパ・ママの準備を応援しています。また、他院からの出生前診断の受け入れや、今年から公費対象となった「RSウイルスワクチン（アブリスポ）」の接種にも対応。地域の女性の安心を支える窓口でありたいと考えています。

4. SNSで「産科のいま」を発信中！

産科外来では、公式SNSを運営しています。元気な赤ちゃんの様子や、「産後の入院食」、お母さんたちからの嬉しいコメントなど、病院の日常を定期的にお届けしています。ぜひチェックしてみてくださいね。





新人看護師紹介

■教育担当 看護師長 上野 裕美

昨年までは2北病棟(産科・女性病棟)にて、無痛分娩をはじめ妊産婦のニーズに寄り添った看護サービスの提供に携わってまいりました。本年4月からは、病院全体の看護師教育を担当しております。

当院に新たに加わった45名の看護師は、毎日いきいきとした姿で業務に取り組んでいます。医療を取り巻く環境が変化し続ける中、患者さん一人ひとりに寄り添った質の高い看護を提供

するためには、学び続ける姿勢が何より大切であると感じています。

教育担当として、看護職員が安心して成長できる環境づくりに努めるとともに、互いに支え合いながら学べる機会を充実させてまいります。新人教育および継続教育を通して、「学びを実践につなげる」支援を行い、看護職員それぞれの経験や思いを共有しながら、ともに成長できる一年にしていきたいと考えています。



ともに築く、新しい病院の未来



新しい病院の未来を支える新人たち

コーヒーブレイク



夏バテから復活する栄養

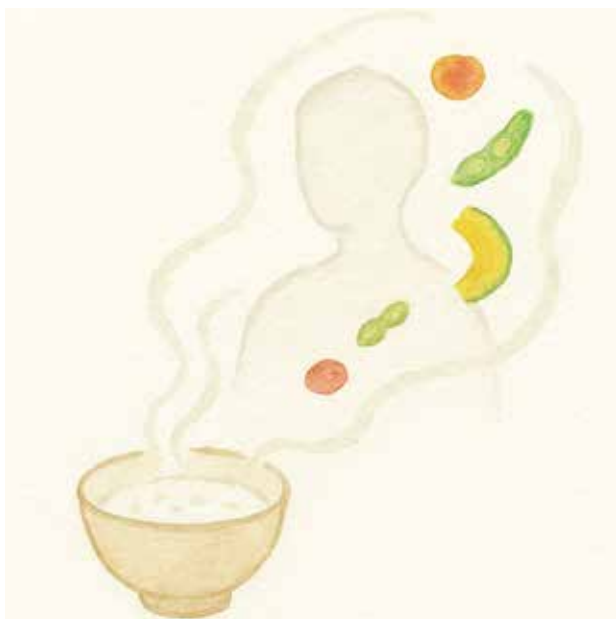
～「食べる」で自分を慈しみ、秋へ繋ぐ物語～

栄養管理室長 藤田 かほる

みなさま、こんにちは。管理栄養士の藤田です。6月。銀杏並木の若葉が鮮やかな緑をたたえ、梅雨の湿り気が肌にまとわりつく季節になりました。この時期、外来のロビーや病棟の廊下で「なんだか身体が重だるい」「食欲が落ちてきた気がする」という声をよく耳にするようになります。

実は、これから迎える夏は、一年で最も「栄養の守り」を固めていただきたい時期です。高温多湿な環境は、自律神経を乱し、消化機能を低下させます。特に治療中の方や、体力が落ちている方にとっては、知らず知らずのうちにエネルギーを削られてしまう「夏バテの入り口」でもあります。

今回のコラムでは、「夏バテから復活する栄養」をテーマに、日々の暮らしの中で実践できるヒントをまとめました。この記事自体を「自分を整えるためのテキスト」として、ぜひお手元に置いていただければ幸いです。



1. 食は人を良くする。「寄り添い」から始まる食養生

「食」という字は「人を良くする」と書きます。私が管理栄養士として最も大切にしている信念です。今期の朝ドラ『風、薫る』では、明治時代の看護婦さんたちが、患者さんの枕元で一匙のスープを運び、心身に寄り添う姿が描かれています。彼女たちが大切にしたのは、西洋医学の知識だけでなく、「どうすればこの方が一口食べてくれるか」という、徹底した相手への思いやりでした。

私たち管理栄養士も、そしてこの広報誌も、同じでありたいと願っています。数値や理論だけでなく、みなさんの日々の食卓にそっと寄り添い、「これなら今日、できそう」という安心をお届けすること。それが「復活」への何よりの近道です。



2. 暮らしの中で語り合いたい「10の復活テーマ」

ここからは、みなさんがご家族やご友人と、あるいはご自身と対話しながら読み進めていただけるよう、夏バテを乗り越えるための10個の知恵をご提案します。

①胃腸の工場を「黄色い食材」で温める

薬膳では、梅雨から夏の湿気は胃腸（脾）の機能を低下させると考えます。

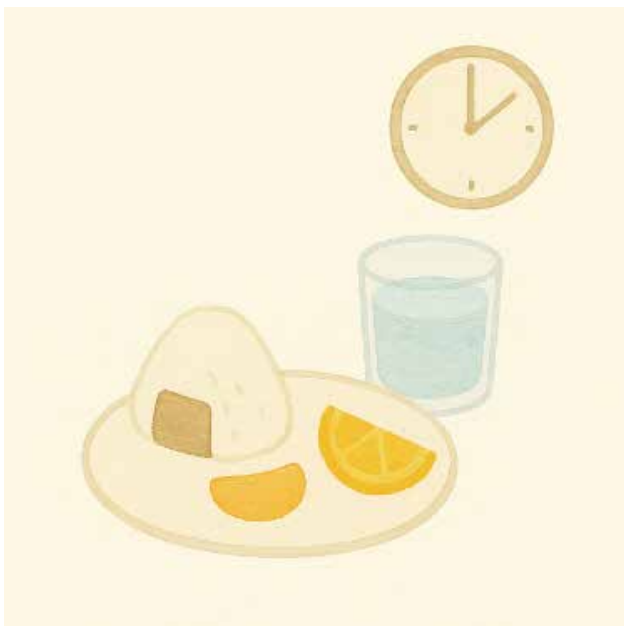
- **知恵：**カボチャ、トウモロコシ、大豆、ハチミツなどの「黄色い食材」は、胃腸を温め、食べたものをエネルギーに変える力を助けます。

〈対話のヒント〉：「最近、無理なく食べられた『黄色いもの』はありますか？」

②お粥の「十の功德」を味方にする

お粥には「粥有十利（しゅうゆうじり）」という十の宝物のような効果があります。「気力を増す」「喉を潤す」「便通を整える」……。お米をじっくり炊くことで、栄養が速やかに吸収され、消耗した心身を優しく癒やしてくれます。

〈対話のヒント〉：「お粥や雑炊に、これを足したら美味しかった。という発見はありますか？」



③「冷たいジュレ」で味覚を味方につける

治療中や体調不良時、「温かいものが苦く感じる」ということがあります。そんな時は、出汁をゼラチンで冷たく固めた「ジュレ」が救いになります。温度を下げることで口当たりが良くなり、喉を通りやすくなります。

〈対話のヒント〉：「食欲がない時、冷やしたら意外と食べられた、というメニューは？」

④缶詰の「汁」と「香り」で巡りを良くする

包丁を持つ元気がない日は、魚の缶詰に頼りましょう。汁に溶け出したDHAやEPAは、血液を整える大切な成分です。そこに大葉や生姜などの香りを添えれば、薬膳でいう「気」の巡りが良くなり、沈んだ気分を引き上げてくれます。

〈対話のヒント〉：「『今日は料理したくない』という日のお助け食材、あなたなら何を選びますか？」

⑤少量頻回食、「お腹が空いた」を待たなくていい

「三食きっちり」という固定観念を、一度手放してみませんか。回数を分けて少しずつ。やなせたかしさんが大切にされた「一切れのパン」のように、その時食べられる分だけを口にする。その一口が、あなたの身体を作る大切な資材になります。

〈対話のヒント〉：「『お腹が空かない』時でも、これなら不思議と一口入る……というものは？」

⑥「酸味」で唾液を誘い、味覚をハッキリさせる

レモン、梅干し、酢。酸味は唾液の分泌を促し、ぼんやりした味覚に「ここは食べ物の通り道ですよ」とスイッチを入れてくれます。

〈対話のヒント〉：「味がわかりにくい時、役立っている『さっぱり味』のアイデアは？」

⑦「豚肉・枝豆・豆腐」でエネルギーの火を灯す
夏バテからの回復にはビタミンB1が不可欠です。豚肉や大豆製品は、食べたものをエネルギーに変えるための「火種」になります。

〈対話のヒント〉：「疲れが抜けない時、『これを食べると元気が出る気がする』お守り食材は？」

⑧「一番身近な養生」は、自分の中にある
どんなに栄養のある食事も、よく噛まなければ吸収されません。唾液は最高の消化剤です。

〈対話のヒント〉：「ひと口、あと5回多く噛んでみる。そんな小さな工夫を始めてみませんか？」

⑨栄養補助食品は「前向きな選択」

「サプリメントや補助食品を使うのは負け」なんて思わないでください。それは、今の体力を維持し、次の一步を踏み出すための立派な戦略です。

〈対話のヒント〉：「手軽に摂れるゼリーや栄養ドリンク、お気に入りの味はありますか？」

⑩「未来の自分」への予約

今、思うように食べられなくても大丈夫です。秋になれば美味しい果物や根菜が待っています。今の「ゆるり養生」は、秋に笑うための準備期間です。

〈対話のヒント〉：「夏を乗り越えたら、秋に一番食べたいものは何ですか？」



3. 今、この時を繋ぐ。そして秋の「復活」へ
6月の今は、まだ湿気が重く、身体が追いつかない日もあるでしょう。でも、今回ご紹介した「知恵」を一つでも試してみる。その積み重ねが、秋の大きな「復活」へと繋がっていきます。今回の「夏バテから復活する栄養」のお話が、みなさんの会話のきっかけや、日々の食卓の安心になればこれほど嬉しいことはありません。夏を乗り越えたみなさんの身体が、実りの秋に備えてより「蓄え(封蔵)」を深められますように季節のバトンを、一緒に繋いでいきましょう。



結びに代えて：完璧よりも、心地よさを

日々、さまざまな困難と向き合っているみなさま。時には立ち止まり、木陰でお粥をすすするような時間があってもいいのです。この広報誌がみなさんの暮らしに寄り添う「優しい手当て」になりますように。

院内の銀杏が、秋に黄金色に輝くためには、今この時期の「蓄え」が欠かせません。みなさんの毎日が、ゆったりとした湯気のように、穏やかでありますように。

～*～*～ 食は、人を良くする ～*～*～

～*～*～ 食事は、人を良くする事 ～*～*～

連載

近隣保険薬局紹介コーナー 柴胡会ちゅうおう薬局 様



柴胡会ちゅうおう薬局は相模原市中央区の市役所通りや桜通りの近く、落ち着いた街並みの中にある薬局です。

季節の移ろいを感じられる環境の中で、地域の方々に寄り添ったサービスを提供しています。

最寄りのバス停から徒歩圏内とアクセスも良く、駐車場も備えているため、お車でも安心してご来局いただけます。

地域密着型の薬局として、話しやすさや安心感を大切にし、患者様が気軽に相談できる雰囲気づくりを心がけ、スタッフ一人ひとりが丁寧な対応を意識し、患者様の言葉にしっかりと耳を傾けることを大切にしています。

お薬に関することはもちろん、市販薬や健康食品、薬局製剤の取り扱いも行っており日常のちょっとした体調変化や健康維持についても相談しやすい環境が整っております。

実際に、薬の相談だけでなく様々なご相談を受けることも多く、時には患者様から野菜を差し入れていただくなど、温かい関係性が築かれているのも特徴です。

また、かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機

能に加え、国民による主体的な健康の保持増進を積極的に支援する機能を備えた「健康サポート薬局」としての役割を担っており、多くの医薬品を取り扱い、医療用麻薬にも対応しています。



来局された患者様が在宅医療へ移行された際にも継続して関わることができるよう医療機関等と連携しながら在宅医療にも積極的に取り組んでいます。

さらに、実務実習生の受け入れを行うなど、地域を支える人材育成にも力を入れております。日々の業務の中でも「患者様のために何かができるか」を考え続け、これからも皆様に安心してご利用いただけるよう努めて参ります。

【柴胡会 ちゅうおう薬局】

住所:〒252-0239

神奈川県相模原市中央区中央6-9-22

電話:042-768-1771

FAX:042-768-1731

営業時間	月	火	水	木	金	土
9:00-18:30	●	●	●		●	
9:00-17:00				●		
9:00-13:00						●

休業日: 日曜・祝日



連載

近隣協力医療施設の紹介コーナー



**相模大野内科・
呼吸器内科
クリニック**
院長
伊藤 晶彦 先生

2025年4月1日、相模大野ロビーファイブ1階にて「相模大野内科・呼吸器内科クリニック」を開院いたしました。日頃より地域医療の中核を担う独立行政法人国立病院機構相模原病院の先生方、ならびにスタッフの皆様には多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

私は医師となり十数年、大学病院や地域の中核病院にて呼吸器診療と研究に邁進してまいりましたが、特にコロナ禍以降、長引く「せき」に悩む患者さんが急増していることを肌で感じるようになりました。そこで、呼吸器の専門診療がより身近に受けられる場所を作り、お困りの方が気軽に受診できる環境を整えることで、地域医療に貢献したいと考えるに至りました。

当院では「内科一般外来」や「せき外来」を軸に、生活習慣病や睡眠時無呼吸症候群、ぜんそく、COPD、細菌性肺炎などといった、急性期から慢性期まで様々な疾患への診療を行っております。「発熱外来」も行っていて一般の患者さんとは動線を分離して診療を行っています。呼吸器疾患診療の専門性はもとより、スタッフ一同、笑顔で丁寧な対応を大切に、不安を抱える方がもっと安心できるような通いやすいクリニックを目指してまいります。

相模原病院との緊密な連携のもと、精密検査や入院治療が必要な際は速やかにご紹介を行うなど、患者様にとって最適な医療の架け橋となれるよう努めてまいります。相模大野の地で、皆様の健康な呼吸を支える「かかりつけ医」として、地域医療に貢献してまいります。今後

とも、何卒よろしくお願い申し上げます。



**相模大野内科・
呼吸器内科クリニック**

住所:〒252-0303
神奈川県相模原市南区相模大野4-5-1
ロビーファイブA棟1階102
電話:042-705-4119
<https://sagamiono-kokyuki-naika.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	●	●	—	●	●	★	—
15:00~19:00	●	●	—	●	●	—	—

★9:00~13:00

受付時間:最終受付は診療時間終了の30分前まで
休診日:水曜日、土曜午後、日曜日



【病院理念】



私たちは患者の皆さまの人権を尊重し、
十分な説明と同意に基づき、親切で心のこもった医療を提供します。

【基本方針】

1. 総合医療施設としての地域完結型医療の遂行
2. 地域支援病院の使命としての断らない救急医療の継続
3. 良質で安全な効率的医療の継続と低侵襲医療の拡大
4. 免疫異常（アレルギー・リウマチ）の高度専門施設としての診療、臨床研究、教育研修、情報発信
5. 病診連携・病病連携・薬薬連携の強化
6. 説明と同意（インフォームド・コンセント）の徹底
7. 情報開示の推進
8. 感染症や災害に強い診療体制の維持

当院のSNS

相模原病院ホームページ



YouTube
相模原病院



Instagram
相模原病院



産科



小児科



X (旧 Twitter)
相模原病院



小児科



●ギャラリー

※病院公式Instagramにも一部掲載しています。

(4月：院内の桜)



(5月：5月飾り)



新外来棟プロジェクト、いよいよスタート。
2028年1月着工→2030年秋リニューアルオープン
—— 地域医療を支える連携とその未来へ ——



新外来管理棟建設への
ご寄附のお願い



詳しくはこちら

【お問い合わせ先】
管理課 庶務班長

* 新外来棟プロジェクトに関する記事は、「耳よりいいメール 第96号」に掲載しています。
(病院ホームページからもご覧になれます)